

新商品紹介

廃プラ対応焼却炉
モデルチェンジ

DAITTO

焼却炉メーカーのDAITTO(株)(愛知県瀬戸市、井上滋樹社長)はこのほど、廃プラ対応焼却炉「SPZモデル」と「SPIIモデル」を発売した。写真はSPII・400。

新商品は既存のMDZ、MDPIIを基本・構造設計から見直した。燃焼用エアのバ

ランスを変更すること

で最適な燃焼を実現し、燃焼効率が向上したほか、鋼板や耐火壁材の厚みを増すことで耐久性が向上。さらに新型投入扉の採用により、扉のすき間から出る未燃焼ガスを大幅にカットするなど、安全性も向上させた。

使いやすいの面では

小型化した「Wカット集じん室」の採用により、硝煙とじんの飛散を防ぎ、温度調節機能

によって温度管理の手間を省く。また、SPZモデルでは全面開放扉の採用で大きなこみも容易に投入できる。

両機種とも行政への届出は不要。万が一、行政指導があった場合は同社が責任を負う「構造基準適合保証」が付いている。SPZ、SPIIとも200と400の2種類を用意。価格はSPZ・200が198万円、SPII・200が178万円(税別、運賃など別)など。☎0120・21・3136へ。

